

令和5年度 第2回学校運営協議会 議事録

日時：令和5年12月11日(月) 15:30～17:00

場所：本校校長室

出席委員：久会長、川添副会長、委員（根井委員代理出席）、山崎委員、森委員、谷口委員

事務局出席：校長、教頭、首席（2名）

1. 学校長挨拶
2. 会長挨拶
3. 報告

①学校説明会について

校外での説明会報告。校内での学校見学会、学校説明会報告

- ・校外では大阪府公立高校進学フェア、中河内地区合同説明会を中心に実施
- ・学校見学会、学校説明会とも自治会生徒のプレゼンテーションは好評であった。

4. 協議

①令和5年度学校経営計画進捗状況について

- ・通級指導について、2名以外に対象生徒はいないか？
⇒先生方の気づきシートをもとに検討し、本人・保護者の了解を得て指導の対象となる。学校説明会での問い合わせもあるので今後、増えるかもしれない。
- ・通級はどのくらいの時間の指導ですか？
⇒約1時間程度。毎週金曜日の放課後と決めて行っている。
- ・学校教育自己診断アンケートで、教員の肯定感が低いように思う。
⇒以前はもっと低い数値であったが、改善される傾向にある。
- ・同僚性の低さの要因は何と考えているか
⇒学年を超えての動きが少ないからと思う。良くも悪くも学年で決めていることが多いので協力することが少ない。今後はカリキュラムマネジメントの観点から協働する雰囲気をつくっていかうと考えている。
(久委員) アンケートも質問の仕方、表現で回答が変わる。【十分に】という表現をとれば数値は改善するのではないか。
- ・働き方改革といわれるが研修等の参加促進は逆行していないか？
⇒勤務時間中に行っているもので、時間外労働が増加するということはない。
- ・研修をすることで災害の対策や緊急時の対策も周知されていて良い。積極的に公開することで保護者の安心を得られるのではないか。
⇒ホームページ、パンフレットに記載している。また、JCOMの紹介動画で生徒がインタビューに答える形でも情報公開している。
- ・入試倍率の維持が目標とされているが、9クラスで維持できるか？私学の授業料無償化や生徒数が減っていることが影響するのではないか？
⇒難しいかもしれない。しかし、私学は文武両道が難しく、公立高校はその点でどちらも頑張れる状況にあることをアピールしていきたい。
(久委員) 中堅校の影響は少ないと思う。学力の低い学校が苦勞するであろうと予想する。しかし授業はしんどくなることは予想される。

- ・ 3 観点での評価に対する工夫はどのようにされているか
 ⇒主体性の項目において苦勞している。育てたい生徒像が、各教科でバラバラになっており、評価の基準も揃っていない。この件に関してもカリキュラムとともに検討していきたい。
 (久委員) 各教科でルーブリックを持っておく必要がある。そして生徒とも共有しておくことで学習の意欲、主体性につながると良い。
- ・ 3 観点での評価になり課題は増えているか？
 ⇒増えている。問題は課題に追われることで主体的な学びにならないことや、自主的に勉強する事が出来なくなっていることがある。
 昨年に比る改善されていると思うが、パフォーマンス課題を増やすことで何とか工夫している現状。自主的な学習を行っていくために、総合的な探究の時間をうまく活用していきたい。
 (委員) バランスをとってあげる必要があるかもしれない。課題に追われることで不登校を誘発することもある。
- ・ 前回にも話題になったが、A I の活用はどれぐらい進んでいるのか、将来的にはどのように向きあっていくのか？
 ⇒今回のテストの回答には AI で作ったであろう回答が見受けられた。使うことを前提に考えることが必要となってきた。
- ・ 時間外労働が 80 時間を超えている教員には分掌など、偏りはないか
 ⇒特にない。クラブ活動が影響しているが、中にはクラブ活動をできないことがストレスになる教員もいるので一概に時間数だけで過勞やストレスが測れない。
- ・ ストレスチェックはされているか
 ⇒年に 1 度行っている。学校として取り組んでいる。

その他

久委員より

現状の学生はペーパーテストのようなものはできるが論文のテーマが決めれない。

自分で決めたり、探究する力が大切。これが無ければ生きていくことが難しくなる。

課題をこなすことは主体的ではない。本末転倒にならないようにしていかなければならない。